生命科学・医学系研究実施のお知らせ

東京慈恵会医科大学倫理委員会の審査を受け、以下の研究を実施しております。

本研究に関する内容の詳細等、お知りになりたい方は下記【問い合わせ先】までご連絡ください。なお、試料・情報が本研究に用いられることについて、研究の対象となる方（もしくは代理人の方）にご了承いただけない場合は研究対象から除外いたしますので、下記【問い合わせ先】までお申し出ください。

【研究課題名】	非心電図同期胸部 CT における大動脈弁石灰化定量を用いた中等度大動脈弁狭窄症の検出に関する研究:後方視的症例対照研究		
1. 研究の目的と方法	大動脈弁狭窄症は、心臓の出口にある「大動脈弁」が硬くなって開きにくくなる病気です。病気が進行すると息切れや心不全などの原因となるため、早期に見つけることが重要です。通常、この病気の診断には心臓超音波検査（心エコー検査）が行われます。一方、肺などを調べる目的で撮影される胸部 CT 検査でも、大動脈弁の石灰化（硬くなった部分）が偶然見つかることがあります。本研究では、2013 年 3 月 1 日から 2019 年 12 月 27 日までに慈恵医大附属病院で非造影胸部 CT 検査および心エコー検査を受けられた 20 歳以上の患者さんを対象に、診療で取得された CT 画像および診療情報を用いて、大動脈弁の石灰化の程度と中等度大動脈弁狭窄症との関連を調べます。本研究により、胸部 CT で偶然認められた大動脈弁の石灰化から、大動脈弁狭窄症の早期発見につながる可能性を明らかにすることを目的としています。		
2. 研究期間	倫理委員会承認日～2029 年 3 月 31 日まで、研究の実施を予定しています。		
3. 対象となる方等	2013 年 3 月 1 日から 2019 年 12 月 27 日までの間に慈恵医大附属病院で非造影非心電図同期胸部 CT 検査および経胸壁心エコー検査（TTE）を 3 か月以内に受けられた 20 歳以上の方。		
4. 研究に利用する試料・情報について	(1)試料の種類	試料は使用しません。	
	(2)試料の取得の方法	試料は使用しないため、該当しません。	
	(3)情報の種類	年齢、性別、診療録情報、非造影非心電図同期胸部 CT 画像、大動脈弁石灰化スコアおよび経胸壁心エコー検査所見（大動脈弁狭窄症の重症度など）	
	(4)情報の取得の方法	診療録および画像保管システムに保存されている診療情報を収集します。	
5. 研究の実施体制	あなたの試料・情報は、以下の研究者が研究のために利用します。 試料・情報は、(3)の管理責任者が責任をもって、保管・管理します。		
	(1)当施設の研究責任者または研究代表者	研究機関名	東京慈恵会医科大学　臨床検査医学講座
		氏名	大内　厚太郎
	(2)当施設の長	東京慈恵会医科大学　学長　松藤千弥	
	(3)当施設の試料・情報の管理責任者	(1)の研究責任者と同じ	

	(4)共同で研究を実施する施設とその責任者	この研究では共同で研究を実施する機関はありません。
6.試料・情報を他機関とやり取りすることについて	この研究では、外部の機関と試料・情報をやり取りすることはありません。 試料・情報の利用開始予定日：2026 年 11 月頃～	
【問い合わせ先】	機関名：東京慈恵会医科大学　臨床検査医学講座 研究責任者：非常勤講師　大内　厚太郎（おおうち　こうたろう） 電話番号：03-3433-1111（内線 2291） 対応時間：平日 9：00　～　16：00	

※利用する情報等からは、お名前、住所、電話番号、カルテ番号など、個人を特定できる情報は削除いたします。
研究成果を学会や論文で発表する際も個人が特定できる情報は利用いたしません。